

参加費無料

放送大学&徳島県立図書館共催

まなびの森 講演会

MANABI no MORI

日程 2026(令和8)年度 4月から9月までの毎月1回 土曜日
場所 徳島県立図書館 3F 集会室 1
(徳島県文化の森総合公園内)
定員 各 45名 ▶ 開催1ヶ月前から参加申し込みを受け付けます。
講演 午後1時~午後3時 定員に達し次第締め切ります。
(講演後、図書館からの関連図書の紹介、放送大学徳島学習センターからお知らせ) 「まなびーあ徳島」の主催講座です



2026(令和8)年度 前期 講演内容

- 2026(令和8) 4/18 (土) 国重要文化財になった徳島大学所蔵「伊能忠敬測量図」 徳島大学 名誉教授 平井 松午
- 5/16 (土) 地域史を「地籍」で探ねる —地域たんの近・現代史を「地籍」から探求する試み— 徳島県立総合大学校 とくしま学博士 清水 等
- 6/20 (土) 宇宙の中身は何があるのか? —5%しかわからない宇宙の謎— 徳島大学大学院社会産業理工学研究部理工学域・自然科学系 教授 伏見 賢一
- 7/18 (土) 大歩危小歩危の「発見」 佐那河内村学芸監・阿波学会 会長 石尾 和仁
- 8/8 (土) 眠りと健康 徳島文理大学薬学部 教授 四宮 一昭
- 9/19 (土) 黎明期の徳島 —縄文・弥生時代のくらしと社会— 元徳島県立博物館長 湯浅 利彦

参加申し込み先

講演会開催日の前日までに放送大学徳島学習センターへ右記の二次元コード又は電話でお申し込みください。
(水曜日~日曜日 9時20分から17時50分)





2026(令和8)

4/18 (土)

徳島大学 名誉教授
平井 松午

国重要文化財になった徳島大学所蔵 「伊能忠敬測量図」

講演内容：

徳島大学附属図書館が所蔵する伊能図10点と地図箱2点が、令和7年(2025)9月26日に美術工芸品(歴史資料)として国の重要文化財に指定されました。美術工芸品としては県内で32例目、歴史資料としては徳島城博物館の「徳島藩御召鯨船千山丸」(1996年指定)に次ぐ2例目となります。

伊能図10点は、東日本を描く「沿海地図」中図3点、西日本を描く「大日本沿海図稿」中図4点、それに関門海峡から大分付近までを画いた「豊前国沿海地図」大図3点ですが、これらは第1～7次(1800～11年)までの測量結果にもとづく未完本です。講演時には、その文化財的意義と学術的意義とについて解説します。

5/16 (土)

徳島県立総合大学校 とくしま学博士
清水 等

地域史を「地籍」で探ねる —地域近・現代史を「地籍」から探求する試み—

講演内容：

「地籍」と似た言葉に「戸籍」があります。前者は「土地」を特定し、後者は「人」を特定するものです。地籍調査は現在も続けられていますが、本講座は過去(地租改正以降)の地籍の成果(いわゆる公図と呼ばれる図面や土地台帳という書面)から、身近な地域における近・現代史を探求しようという新たな試みです。ここで身近な地域というのは、小は複数筆の土地から大は複数の字位の大きさを想定しています。今回の講演では実例として「那賀町平谷地域」の地籍を探った結果を紹介します。

6/20 (土)

徳島大学大学院社会産業理工学研究部
理工学域・自然科学系 教授
伏見 賢一

宇宙の中身は何があるのか？ —5%しかわからない宇宙の謎—

講演内容：

宇宙の中にはどのようなものがあるのでしょうか？私たち自身、毎日見ている地球、太陽、月や星など。いつも見えている物質は、実は宇宙の中ではわずか5%しかないマイナーな存在です。宇宙の誕生から現在に至る歴史、宇宙誕生とともに物質が創成される過程を紐解くと、宇宙の中身には未知の物質がたくさんあることがわかってきました。宇宙をつくる主成分となる宇宙暗黒物質については、世界中の最先端グループが必死になって見つけようとしています。宇宙暗黒物質探索の原理について、実際の装置を紹介しながら解説します。

7/18 (土)

佐那河内村学芸監・阿波学会 会長
石尾 和仁

大歩危小歩危の「発見」

講演内容：

平成30年(2018)に国指定天然記念物及び名勝「大歩危小歩危」が誕生しました。かつては「交通の難所」として人々が近づくことを困難にしていた場所でしたが、そこが大正から昭和初期に風光明媚な観光地として変貌していきます。何がそのような変化をもたらしたのでしょうか。交通網の整備や全国紙が企画した「日本新八景」選定事業などの当時の社会動向、そして「歩危保勝会」を設立した地域住民の取り組みから、その要因を探っていきます。そして、地域振興のあり方についても考えていきます。

8/8 (土)

徳島文理大学薬学部 教授
四宮 一昭

眠りと健康

講演内容：

私たちは人生の約3分の1を眠って過ごしています。日本人の平均睡眠時間はおよそ7時間半ですが、忙しい現代社会では、ストレスや不安、生活環境の変化によって、眠りの質が低下したり、睡眠のトラブルを感じたりする方が増えています。この講演では、健やかな毎を送るために睡眠がなぜ大切なのか、良質な睡眠のための生活習慣、そして睡眠に関わる「おくすり」についてお話しします。

9/19 (土)

元徳島県立博物館長
湯浅 利彦

黎明期の徳島 —縄文・弥生時代のくらしと社会—

講演内容：

徳島県域の考古学調査は1922(大正11)年の鳥居龍蔵等による城山貝塚発掘が最初です。1970年代までは大学等による小規模な調査が中心で考古資料も限定的でした。1980年前後から発掘調査を行える県・市町村の体制が徐々に整い、1990年代以降、大規模な埋蔵文化財調査が相次いで、遺跡や考古資料が爆発的に増加しました。それら資料の分析で明らかになってきている徳島の旧石器・縄文・弥生の時代像について、その概要を紹介します。